

## 9. 観光施策について

問37 あなたは、松阪市を観光地だと思いますか。（○は1つだけ）

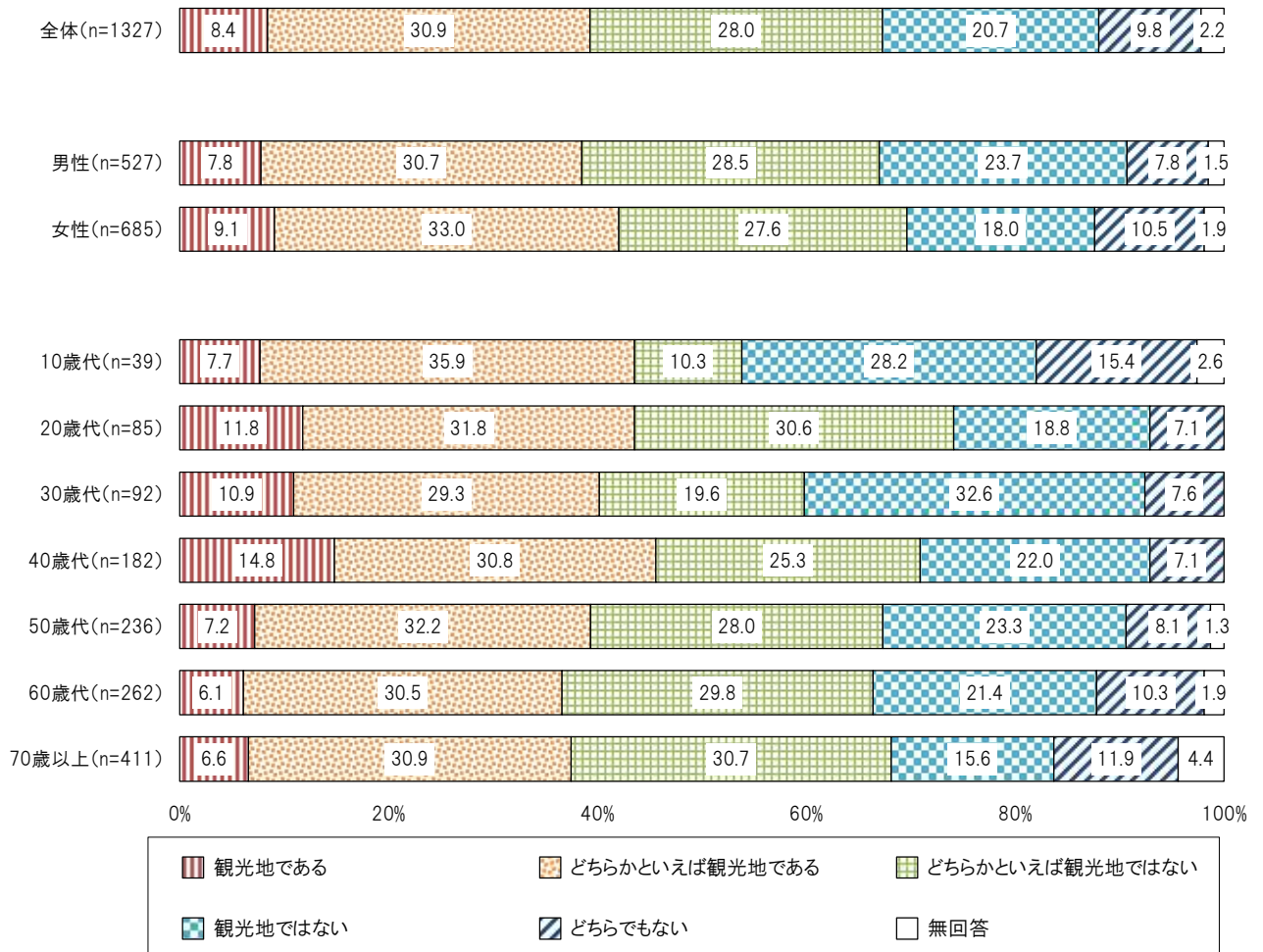
「どちらかといえば観光地である」が30.9%と最も高く、次いで「どちらかといえば観光地ではない」が28.0%、「観光地ではない」が20.7%となっている。

性別にみると、「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は男性で38.5%、女性で42.1%と女性の方が男性より3.6ポイント高くなっている。一方、「観光地ではない」「どちらかといえば観光地ではない」の合計の割合は、男性が52.2%、女性が45.6%と、男性の方が女性より6.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、「観光地である」「どちらかといえば観光地である」の合計の割合は、最も低い60歳代の36.6%と最も高い40歳代の45.6%の間では9.0ポイントの差となっている。

「観光地ではない」「どちらかといえば観光地ではない」の合計の割合でみると、最も低い10歳代の38.5%と最も高い30歳代の52.2%の間では13.7ポイントの差となっている。

問37 松阪市を観光地だと思うか



問 38 あなたが旅行に行くとき、何を重視して行き先を決めますか。（○は3つまで）

「グルメ・食事」が57.3%と最も高く、次いで「宿泊施設」が38.1%、「歴史・文化」が31.3%となっている。

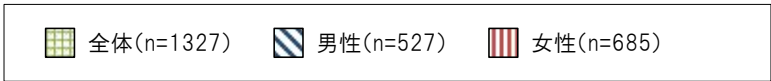
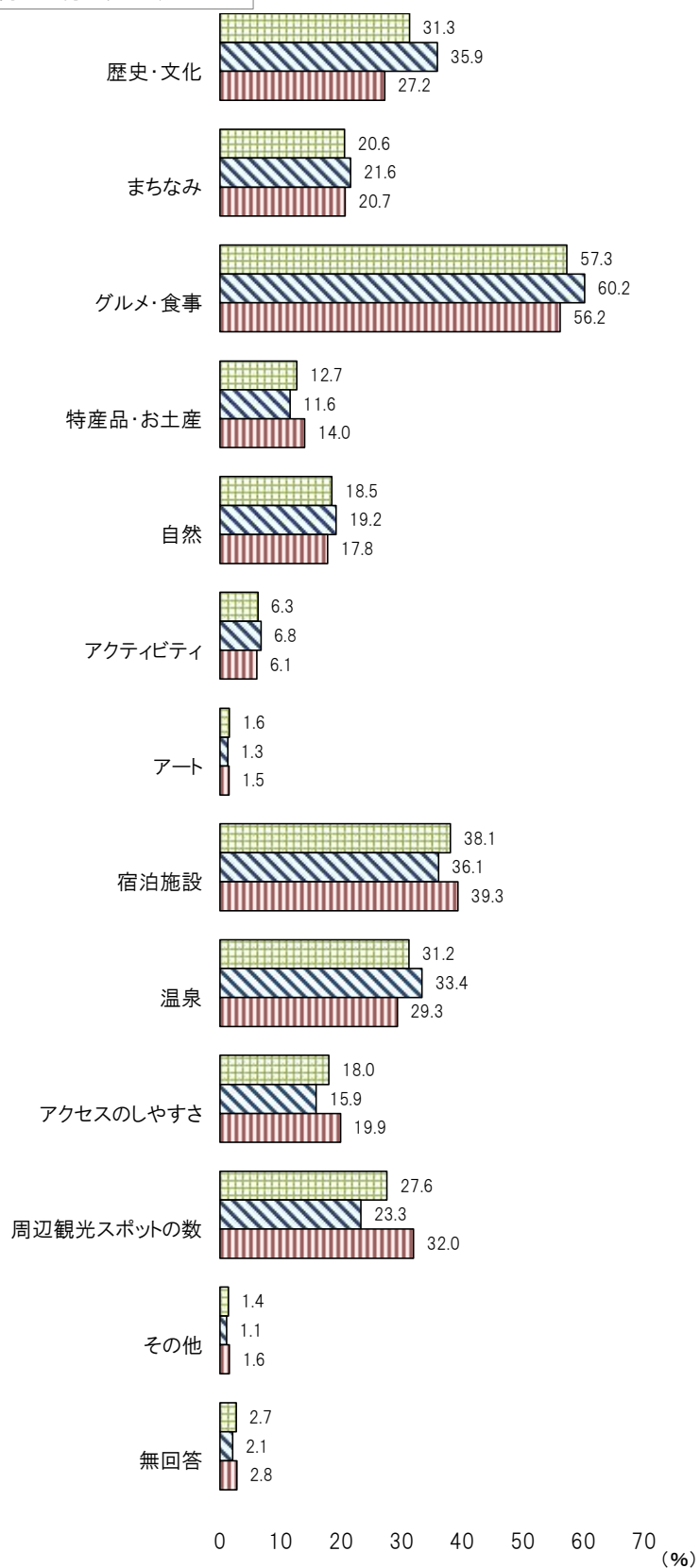
性別にみると、2番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「歴史・文化」で8.7ポイント、「温泉」で4.1ポイント男性の方が高く、一方で「周辺観光スポットの数」で8.7ポイント、「アクセスのしやすさ」で4.0ポイント女性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「グルメ・食事」が1番目となっており、10歳代、20歳代、30歳代では7割を超えている。「温泉」が70歳代で40.9%と2番目に高い一方、10歳代の割合が最も低く7.7%となっている。

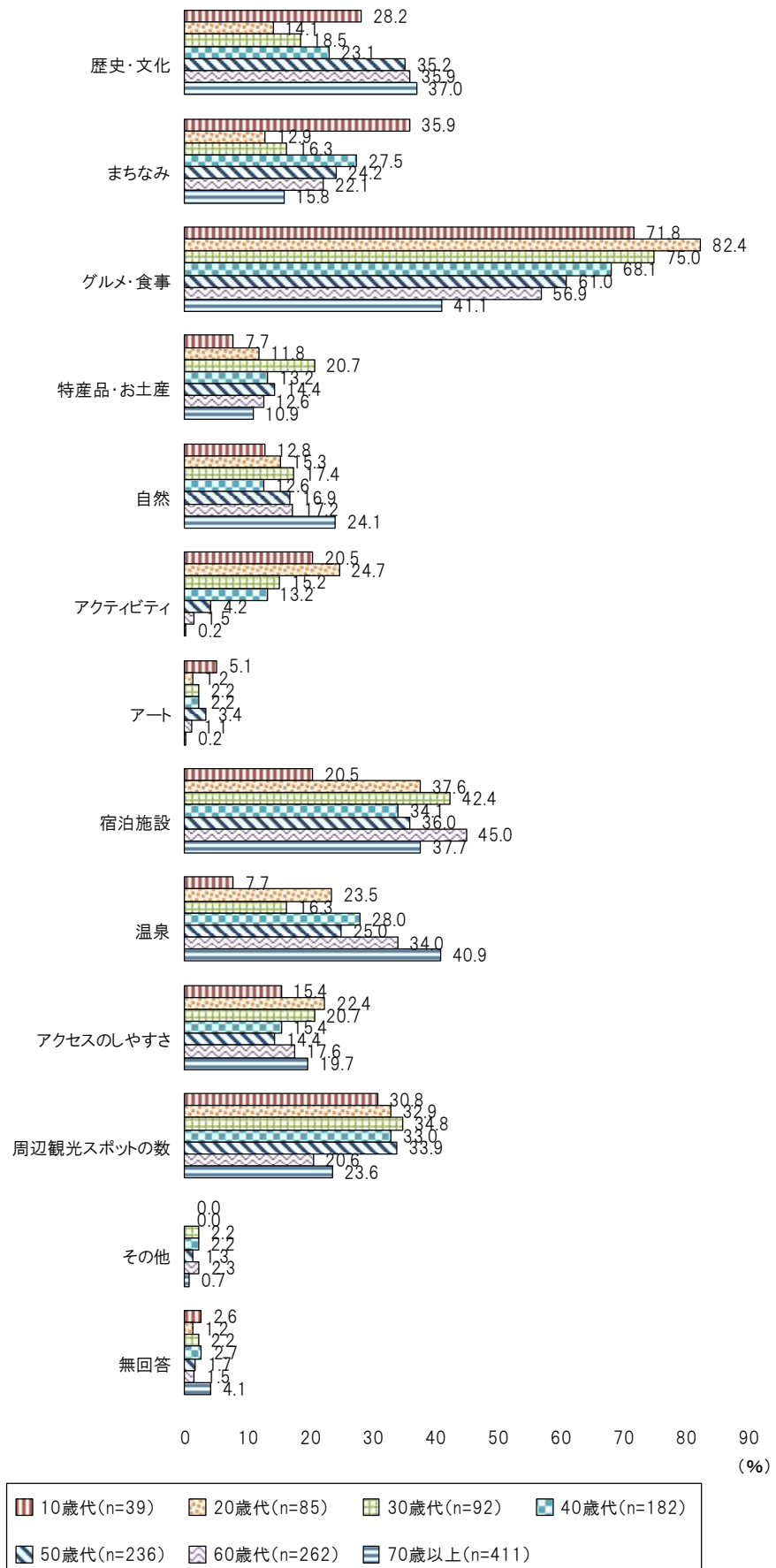
<年代ごとの上位3項目>

	1番目		2番目		3番目	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
10歳代	グルメ・食事	71.8%	まちなみ	35.9%	周辺観光スポットの数	30.8%
20歳代	グルメ・食事	82.4%	宿泊施設	37.6%	周辺観光スポットの数	32.9%
30歳代	グルメ・食事	75.0%	宿泊施設	42.4%	周辺観光スポットの数	34.8%
40歳代	グルメ・食事	68.1%	宿泊施設	34.1%	周辺観光スポットの数	33.0%
50歳代	グルメ・食事	61.0%	宿泊施設	36.0%	歴史・文化	35.2%
60歳代	グルメ・食事	56.9%	宿泊施設	45.0%	歴史・文化	35.9%
70歳以上	グルメ・食事	41.1%	温泉	40.9%	宿泊施設	37.7%

問38 旅行に行くとき何を重視して行き先を決めるか



問38 旅行に行くとき何を重視して行き先を決めるか



問 39 もし、あなたが観光客などから松阪市のことをたずねられた場合、何を紹介（自慢）しますか。（〇は2つまで）

「グルメ（松阪牛）」が67.7%と最も高く、次いで「歴史、文化、町並み」が43.9%、「グルメ（松阪牛以外）」が16.4%となっている。

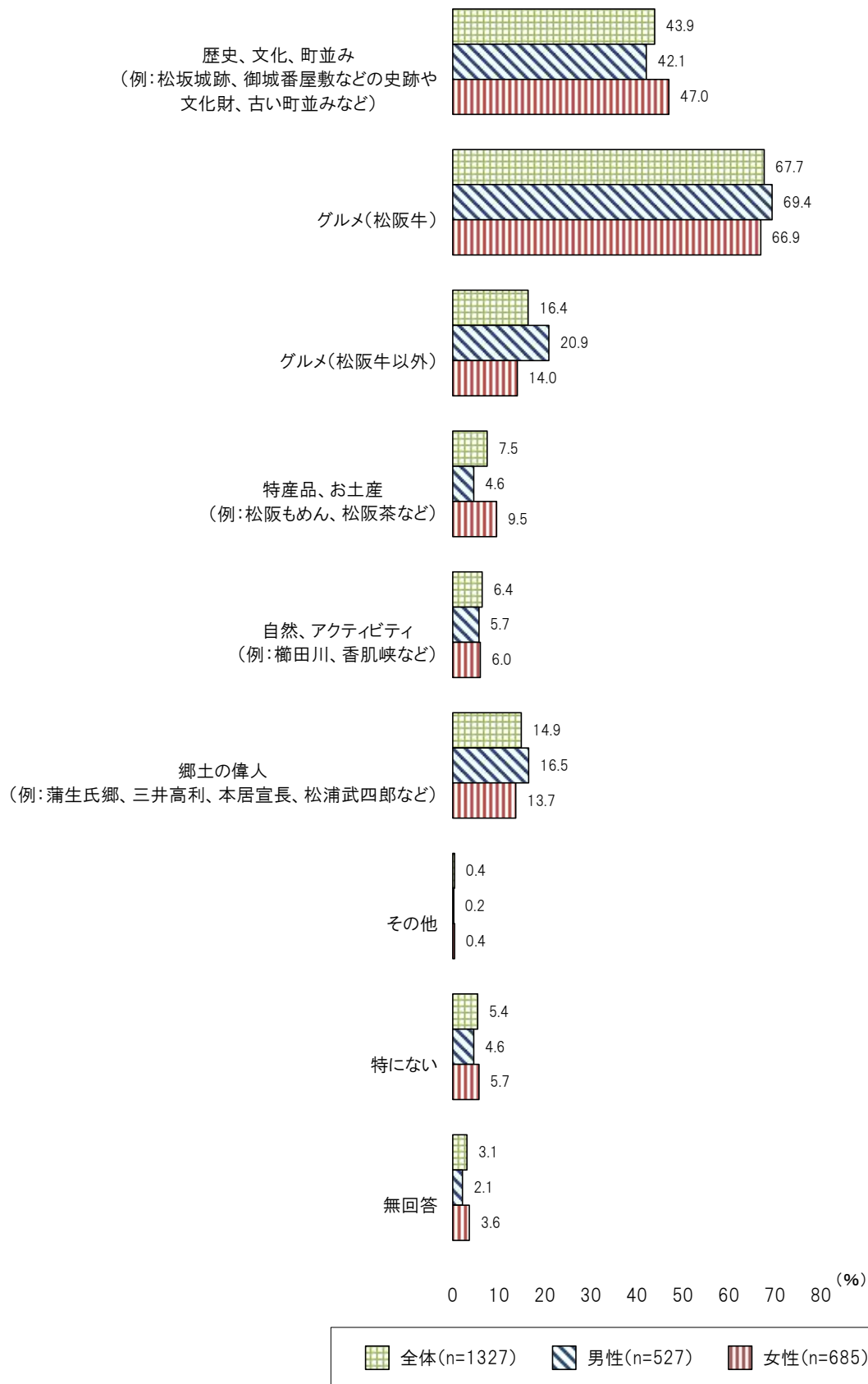
性別にみると、3番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。男女の間で差が大きかった項目は、「グルメ（松阪牛）以外」が6.9ポイント男性の方が女性より高く、一方「歴史、文化、町並み」「特産品、お土産」で4.9ポイント女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、いずれの年代でも1番目は「グルメ（松阪牛）」、2番目は「歴史、文化、町並み」であり、10歳代と70歳以上を除いた年代で3番目は「グルメ（松阪牛以外）」が入っている。一方、10歳代と70歳以上で3番目に「郷土の偉人」が入っている。

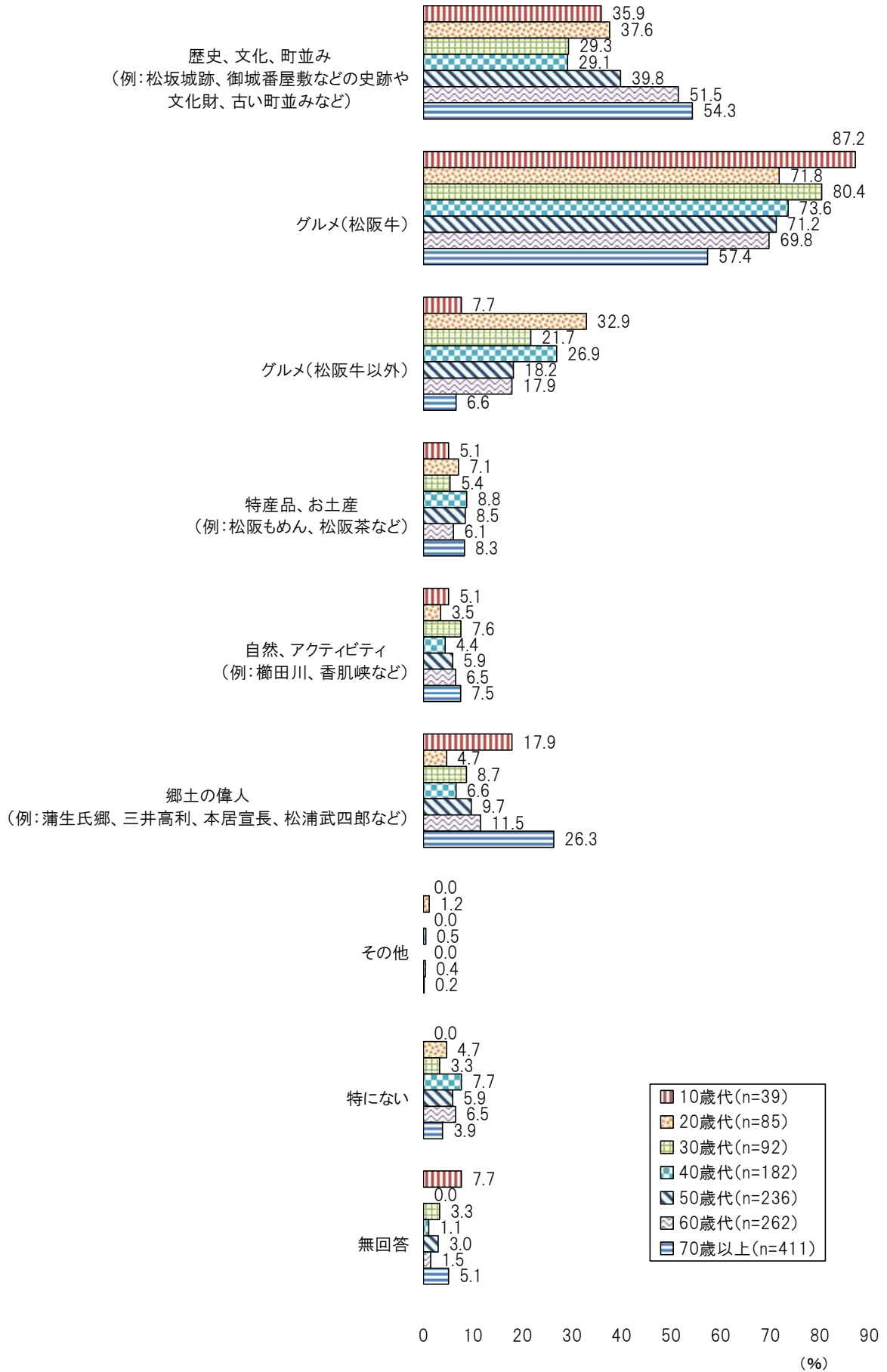
<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	グルメ（松阪牛）	87.2%	歴史、文化、まちなみ（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	35.9%	郷土の偉人（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	17.9%
20 歳代	グルメ（松阪牛）	71.8%	歴史、文化、まちなみ	37.6%	グルメ（松阪牛以外）	32.9%
30 歳代	グルメ（松阪牛）	80.4%	歴史、文化、まちなみ	29.3%	グルメ（松阪牛以外）	21.7%
40 歳代	グルメ（松阪牛）	73.6%	歴史、文化、まちなみ	29.1%	グルメ（松阪牛以外）	26.9%
50 歳代	グルメ（松阪牛）	71.2%	歴史、文化、まちなみ	39.8%	グルメ（松阪牛以外）	18.2%
60 歳代	グルメ（松阪牛）	69.8%	歴史、文化、まちなみ	51.5%	グルメ（松阪牛以外）	17.9%
70 歳以上	グルメ（松阪牛）	57.4%	歴史、文化、まちなみ	54.3%	郷土の偉人	26.3%

問39 観光客などから松阪市のことを尋ねられたら何を紹介(自慢)するか



問39 観光客などから松阪市のことを尋ねられたら何を紹介(自慢)するか



問 40 これから松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいと思いますか。（〇は2つまで）

「歴史・文化のまちとしてPR」が47.9%と最も高く、次いで「食のまちとしてPR（松阪牛）」が43.3%、「食のまちとしてPR（松阪牛以外）」が28.6%となっている。

性別にみると、3番目以内に入る項目は男女とも同じであったが、1番目の項目は、男性は「食のまちとしてPR（松阪牛）」、女性は「歴史・文化のまちとしてPR」であった。男女の間で差が大きかった項目は、「食のまちとしてPR（松阪牛）」で6.1ポイント男性の方が高く、一方で「歴史・文化のまちとしてPR」で5.7ポイント、「特産品をPR」で4.4ポイント女性の方が高くなっている。

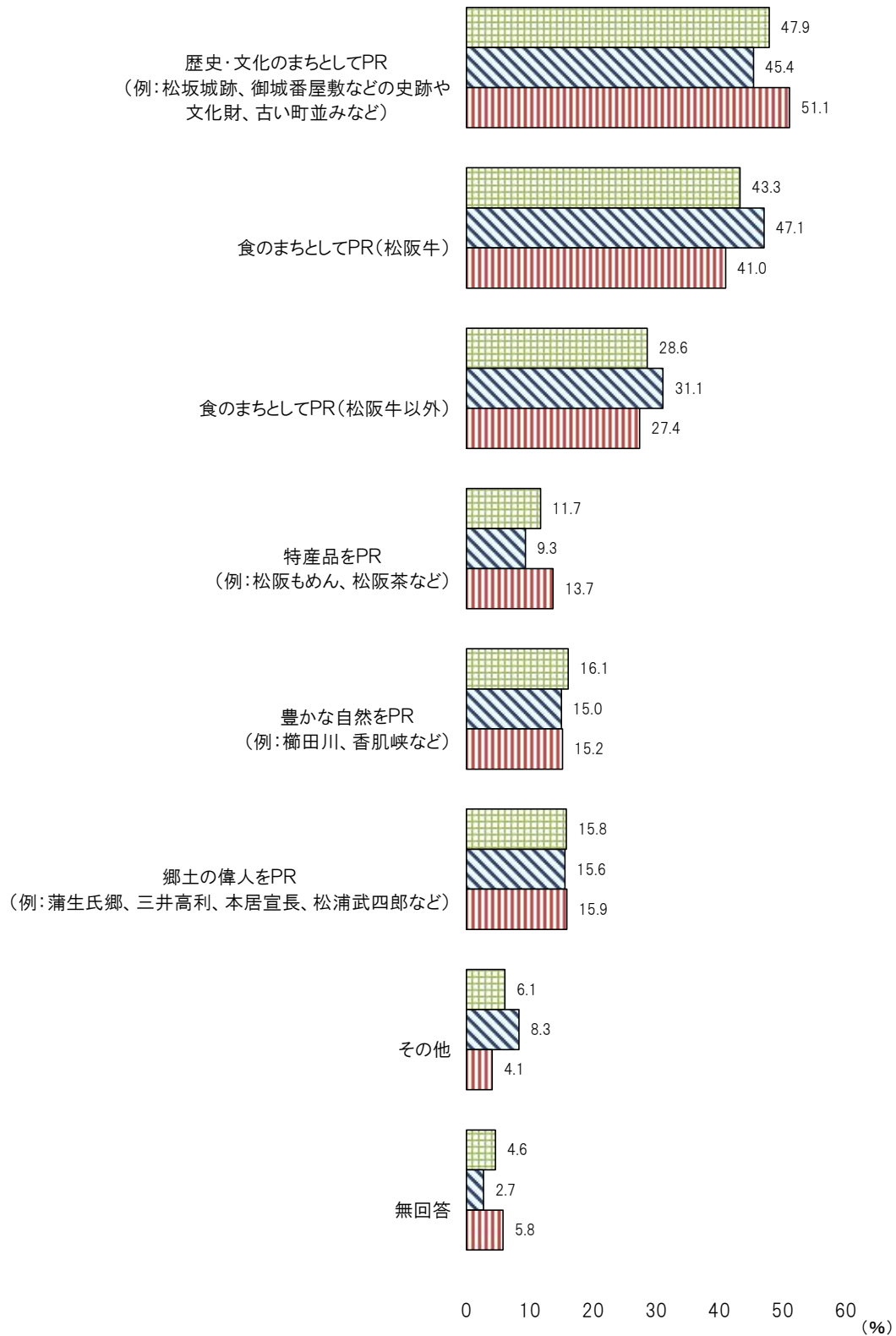
年代別にみると、1番目の項目は10歳代、30歳代、40歳代で「食のまちとしてPR（松阪牛）」の割合が高く5割を超えている。一方、20歳代では「食のまちとしてPR（松阪牛以外）」、50歳代、60歳代、70歳以上では「歴史・文化のまちとしてPR」が1番目の項目に入っている。

<年代ごとの上位3項目>

	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	66.7%	歴史・文化のまちとしてPR（例：松坂城跡、御城番屋敷などの史跡や文化財、古い町並みなど）	43.6%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	23.1%
20 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	49.4%	食のまちとしてPR（松阪牛）	48.2%	歴史・文化のまちとしてPR	37.6%
30 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	56.5%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	43.5%	歴史・文化のまちとしてPR	38.0%
40 歳代	食のまちとしてPR（松阪牛）	51.1%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	36.8%	歴史・文化のまちとしてPR	33.0%
50 歳代	歴史・文化のまちとしてPR	43.2%	食のまちとしてPR（松阪牛）	36.9%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	35.2%
60 歳代	歴史・文化のまちとしてPR	56.1%	食のまちとしてPR（松阪牛）	44.3%	食のまちとしてPR（松阪牛以外）	28.6%
70 歳以上	歴史・文化のまちとしてPR	56.7%	食のまちとしてPR（松阪牛）	38.0%	郷土の偉人をPR（例：蒲生氏郷、三井高利、本居宣長、松浦武四郎など）	27.5%

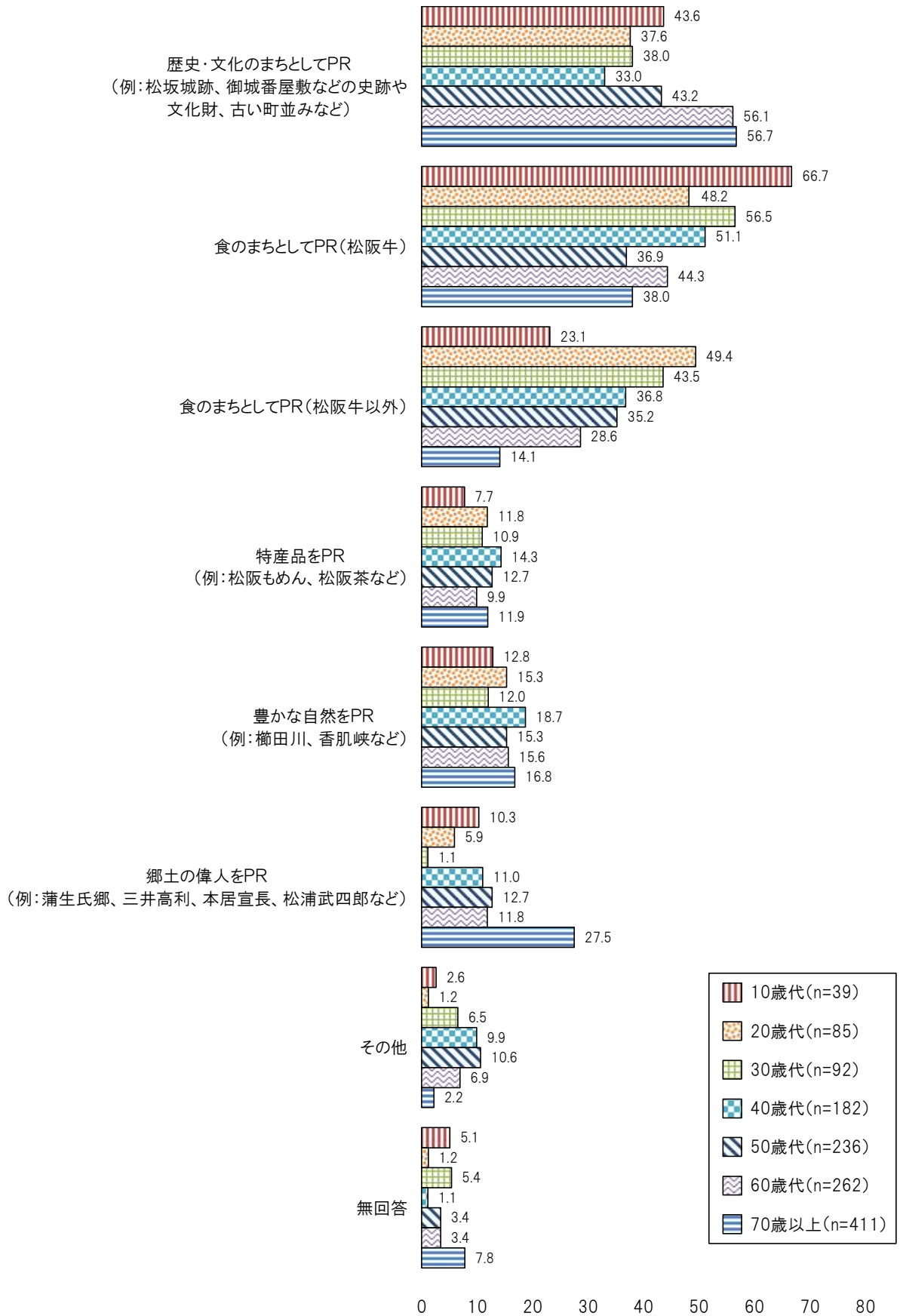


問40 松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいか



全体 (n=1327)
  男性 (n=527)
  女性 (n=685)

問40 松阪に観光客が訪れてもらうにはどうすればいいか



(%)

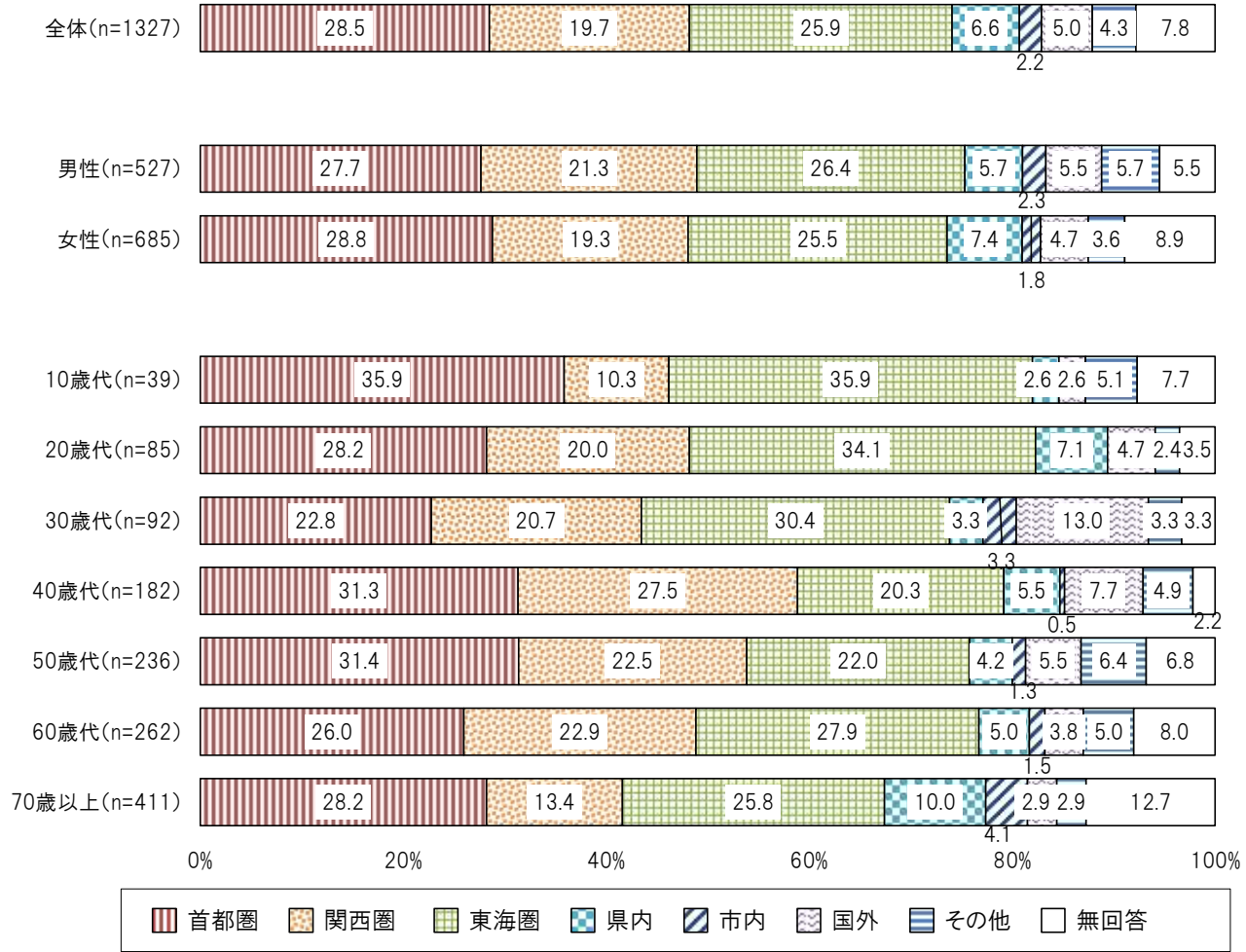
問 41 どのようなところに向けたPRや情報発信をすればいいと思いますか。(○は1つだけ)

「首都圏」が28.5%と最も高く、次いで「東海圏」が25.9%、「関西圏」が19.7%となっている。

性別にみると、「首都圏」「関西圏」「東海圏」の男女の差はいずれもわずかなものであり、大きな違いはみられない。

年代別にみると、各年代で最も多かった項目は、10歳代、20歳代、30歳代、60歳代は「東海圏」、40歳代、50歳代、70歳以上は「首都圏」となっている。なお、10歳代は「東海圏」「首都圏」の2項目について同率であった。

問41 どのようなところに向けたPRや情報発信すればよいか



問 42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいと思いますか。(○は2つまで)

「SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter)、LINE、YouTube など)」が41.2%と最も高く、次いで「イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)」が32.4%、「Web (Web サイトの充実、Web 広告の活用、PR 動画作成など)」が26.1%となっている。

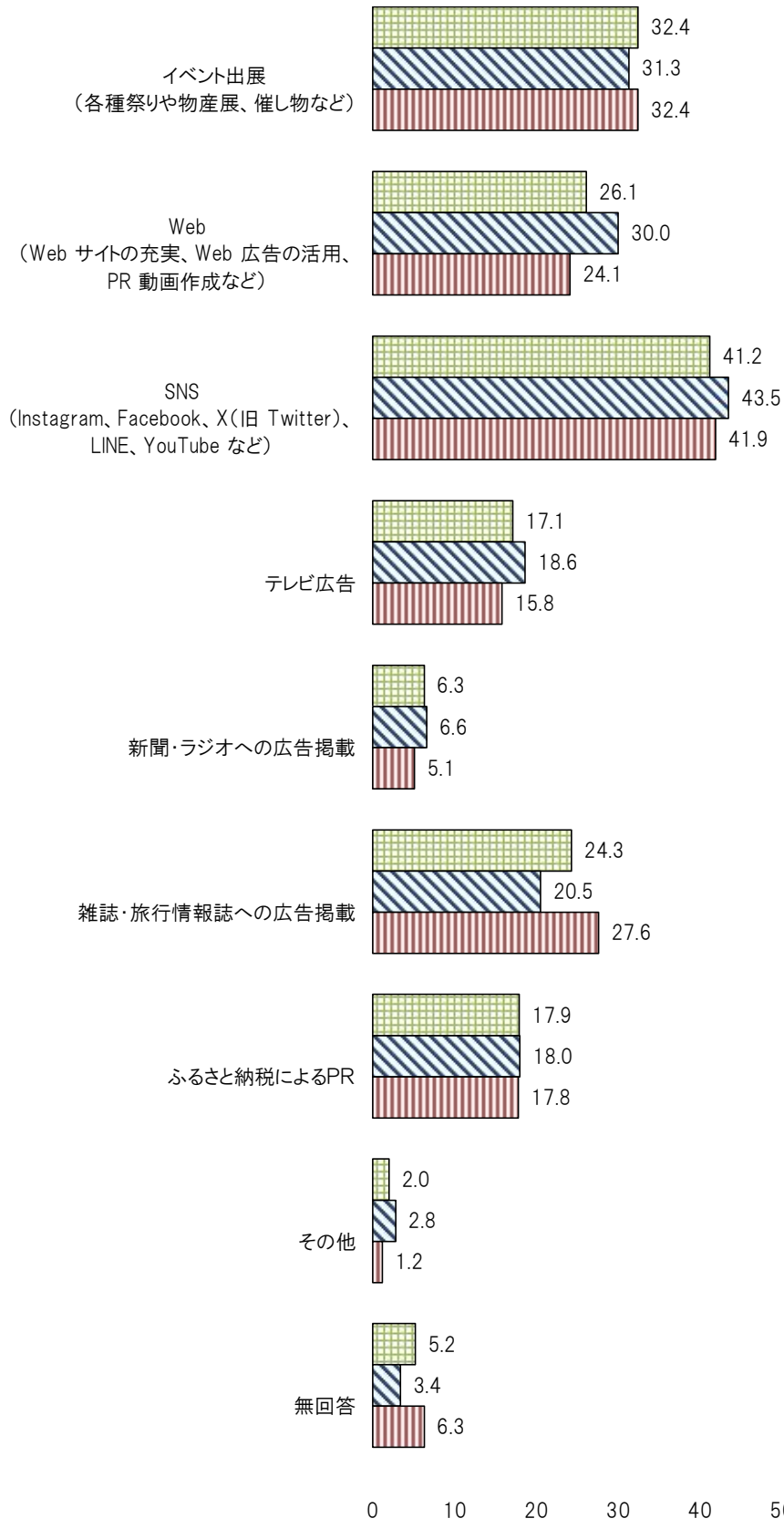
性別にみると、2番目以内に入る項目は、項目、順番ともに同じであった。3番目の項目は男性が「Web (Web サイトの充実、Web 広告の活用、PR 動画作成など)」、女性が「雑誌・旅行情報誌への広告掲載」となった。男女の間で差が大きかった項目は、「雑誌・旅行情報誌への広告掲載」で7.1ポイント女性の方が高くなっている。一方で「Web (Web サイトの充実、Web 広告の活用、PR 動画作成など)」で5.9ポイント男性の方が高くなっている。

年代別にみると、60歳代、70歳以上を除いた年代では「SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter)、LINE、YouTube など)」が1番目となっており、一方60歳代、70歳以上では「イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)」が1番目となっている。

<年代ごとの上位3項目>

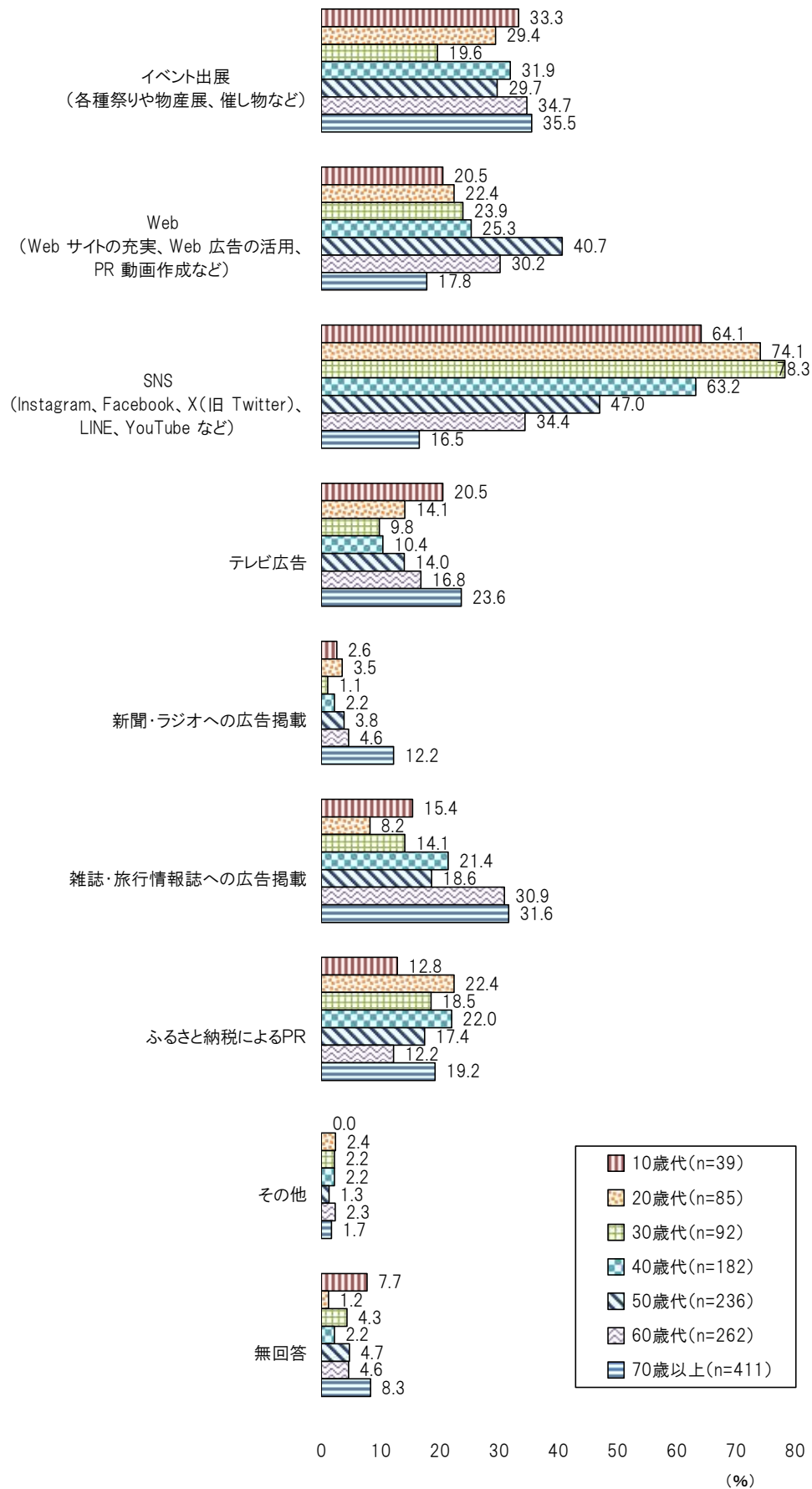
	1 番目		2 番目		3 番目	
10 歳代	SNS (Instagram、Facebook、X (旧 Twitter)、LINE、YouTube など)	64.1%	イベント出展 (各種祭りや物産展、催し物など)	33.3%	WEB (WEB サイトの充実、WEB 広告の活用、PR 動画作成など)	20.5%
					テレビ広告	20.5%
20 歳代	SNS	74.1%	イベント出展	29.4%	WEB	22.4%
					ふるさと納税によるPR	22.4%
30 歳代	SNS	78.3%	WEB	23.9%	イベント出展	19.6%
40 歳代	SNS	63.2%	イベント出展	31.9%	WEB	25.3%
50 歳代	SNS	47.0%	WEB	40.7%	イベント出展	29.7%
60 歳代	イベント出展	34.7%	SNS	34.4%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	30.9%
70 歳以上	イベント出展	35.5%	雑誌・旅行情報誌への広告掲載	31.6%	テレビ広告	23.6%

問42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいか



全体(n=1327)
  男性(n=527)
  女性(n=685)

問42 どのような方法でPRや情報発信をすればいいか



0 10 20 30 40 50 60 70 80 (%)